

石綿健康相談 その1 (2005年11月)

～岡山産業保健推進センターによる「石綿健康相談」実績～

岡山県玉野市で開設した第1回「石綿臨時健康相談」への参画

既に周知のことですが本年6月29日に尼崎市クボタ旧工場のアスベスト被害についてのマスコミ報道を切っ掛けに、アスベスト曝露の恐れある従業者、離職者並びにその家族、更に一般市民の健康被害に対する不安が高まっております。これに対して8月10日付で厚労省労働基準部長より「石綿臨時健康相談」の実施通達が全国7都道府県にあり、当県では三井造船を有する玉野地域が指定を受け、岡山労働局を介して岡山産業保健推進センターにも健康相談員の派遣要請がありました。対象は健康被害が比較的多発している玉野三井造船の離職者を含む労働者や近隣住民で、8月30日午後、第1回目が実施されました。

当推進センター相談員には今回、厚生労働省石綿対策研究班長を拝命した岸本卓巳岡山労災病院副院長が所属していて、当日も氏による「石綿による健康影響に係る講演」の後、当センター相談員（産業医学）3名と同氏が当日の相談者75名の内、27名を担当しました。

その結果と考察をシリーズ初回の内容とさせて頂きました。同氏は現在、全国の中皮腫罹患者の疫学調査に奔走しております。又、当センターの労働工学相談員で作業環境測定士の西出忠司氏は今回のクボタ事件後は特に多忙を極め、兵庫県、中国・四国地区のアスベスト関連企業やアスベスト建材使用建物の定性・定量測定に東奔西走の毎日です

又、7月中旬以降、当センターでも独自の健康相談窓口を開設し11月25日現在43件の相談に応じていますし、去る10月28日には同じく玉野市で第2回目の「石綿臨時健康相談」にやはり4名の当センター相談員が出務致しました。

これらの実績・結果・分析等につきましては逐次掲載して参る予定です。

岡山産業保健推進センター所長 石川 紘 (2005. 11. 25)

岡山県玉野市で開設した「石綿臨時健康相談」の効果・影響について

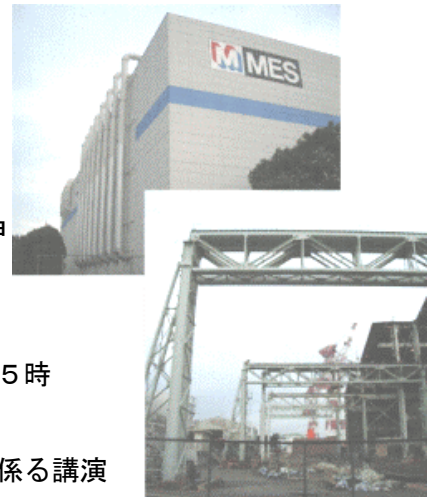
玉野市での開設の動機

- ・三井造船（株）玉野事業所で石綿による肺がん・中皮腫により元従業員ら12名が死亡。
- ・平成17年8月10日付厚労省労働基準局長より岡山労働局長宛に健康相談窓口開設通達あり。
- 岡山労働局よりセンター相談員による出動要請を受けた。

対象・実地時期

対象・・・三井造船（株）

玉野事業所及びその関連する事業場の離職者を含む労働者並びに同事業所近隣住民（希望者はハガキ又はFAXで申込）



実地・・・平成17年8月30日（火） 午後1時～午後5時

日程・・・＜午後1時～午後2時＞石綿による健康影響に係る講演

講師：岡山労災病院副院長・厚労省石綿対策研究班長 岸本卓巳

＜午後2時～午後5時＞石綿に係る健康相談の実施

対応者：岡山産業保健推進センター産業医学相談員4名

（森本接夫・岸本卓巳・道明道弘・山本秀樹）

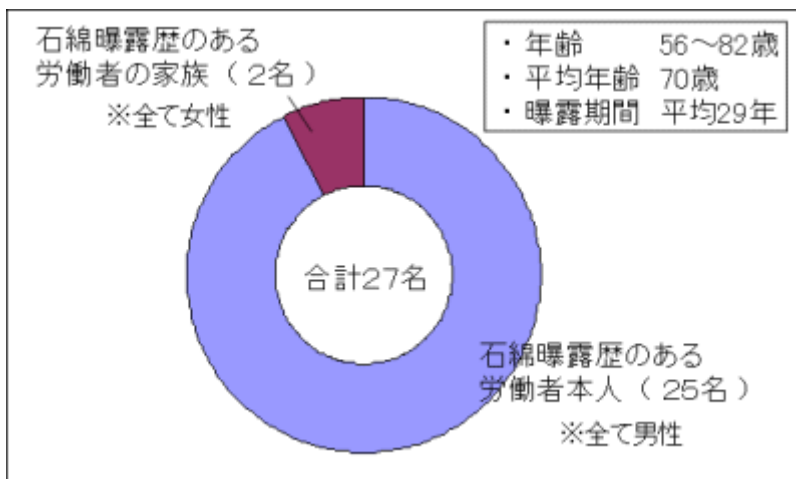
岡山労災病院（専門医2名，看護師長補佐1名）

活動内容（調査票集計）

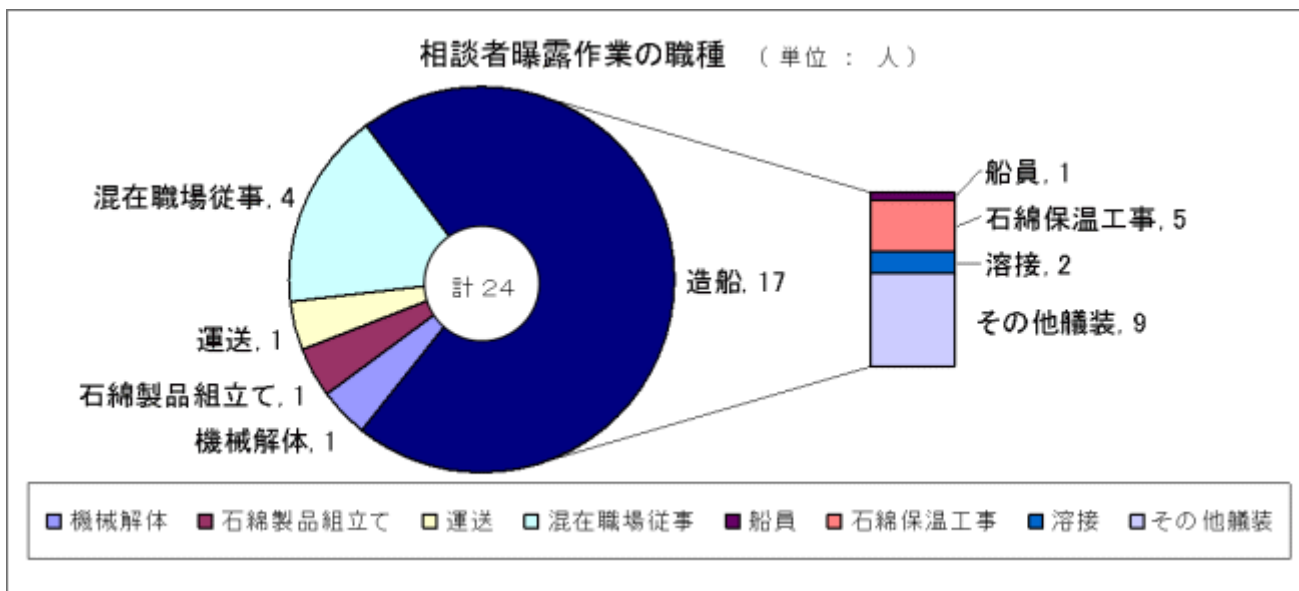
（1）健康相談者ほか対象数（全体）

- (2) ・講演聴講者数――（付添い者等含む）約140名
- ・健康相談者数――（付添い者等除く）70名
- ・相談件数――（延べ件数）85件
- ・推進センター相談員による担当数――27名

(2) 相談者区分（推進センター相談員担当分） ↓



(3) 相談者職種（推進センター相談員担当分）



(4) 相談内容 ※（）内は喫煙歴あるもの

1. すでに何らかの診断を受けているもの 14（9）

1. 中皮腫 1
 2. 石綿肺（胸膜プラーグ確認） . . . 8 （ 6 ）
 3. じん肺 4 （ 2 ）
 4. 肺気腫 1 （ 1 ）
-
2. 咳・痰・息苦しさなどの症状を主訴としたもの 8 （ 5 ）
 3. 曝露歴があり、症状はないが不安で訪れたもの 5 （ 4 ）

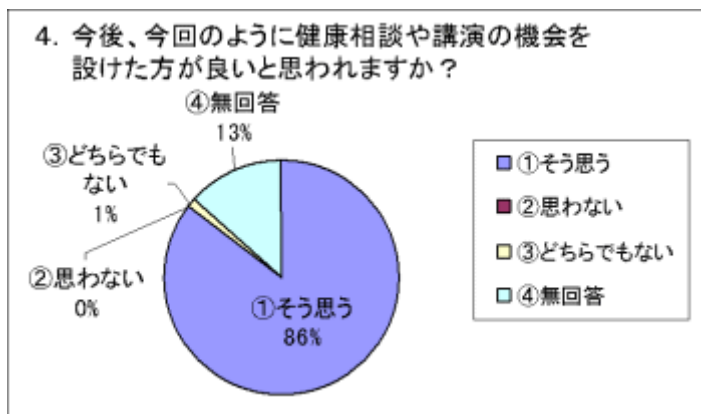
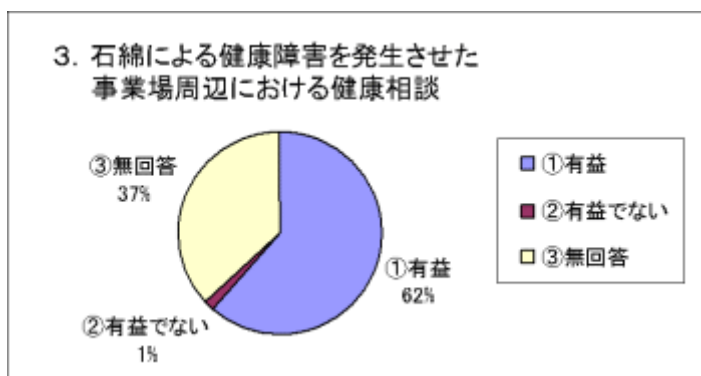
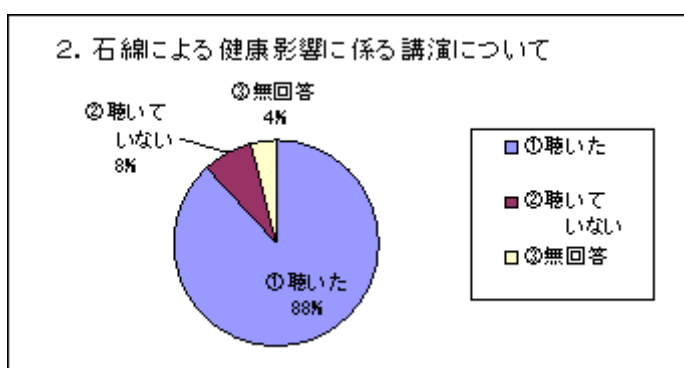
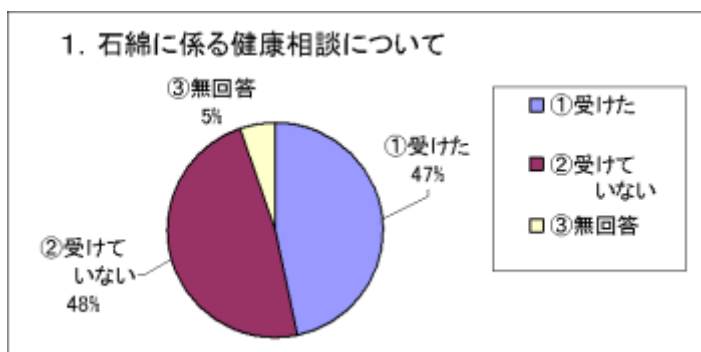
（ 5 ） 回答内容

1. 石綿肺等健診が必要（健診機関には全て岡山労災対象） . . . 1 5
2. 心配あれば健診を受けるように（健診を要する自覚リストを配布） . . . 2
3. 康状態に不安あれば健診を受けるように . . . 1
4. 現在受診中の医療機関で診療・検診を続ける . . . 8
5. 現在受診の医療機関から岡山労災病院に改めて紹介してもらう . . . 1

健康相談者全体の属性及び相談内容

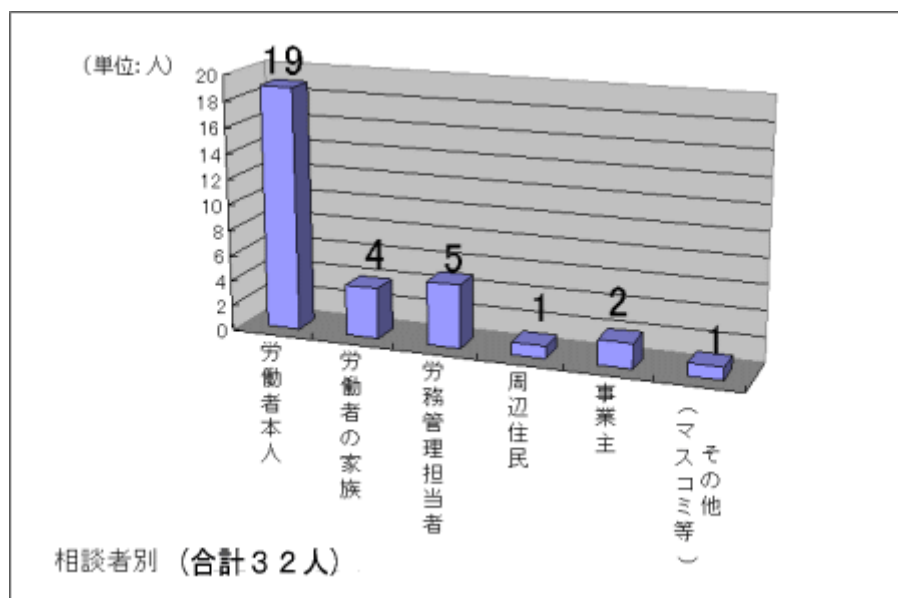
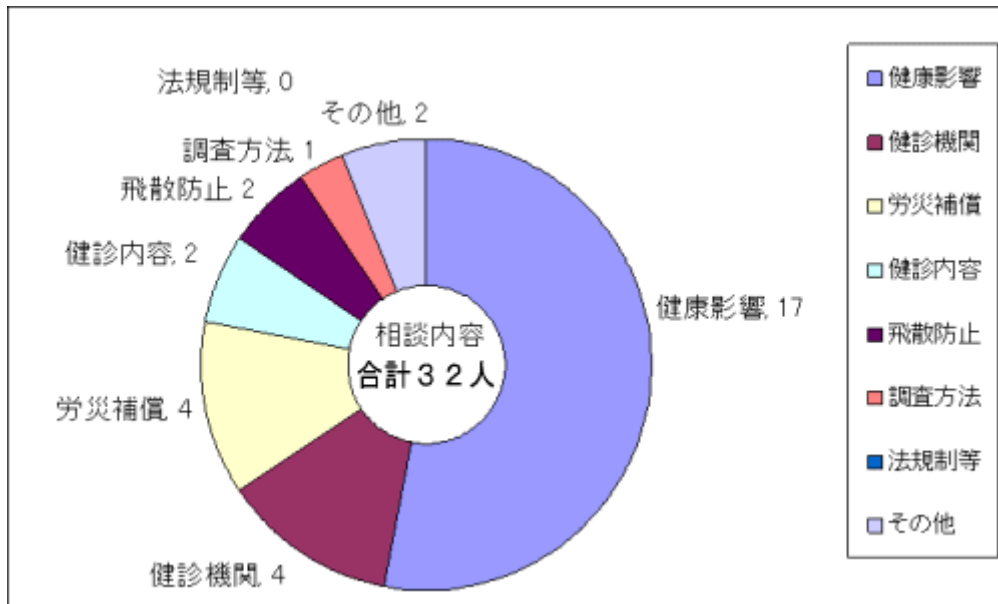
項目	相談者	性別	住所	年齢	関係職種	喫煙歴	退職者健診	相談内容
相談数	労働者本人	男 77	玉野市 65	40代 3	艀装工 27	有 46 無 29 不明 10	有 18 無 28 不明 39	健康関係 62
	労働者の家族	女 7 不明 1	玉野市以外 17 不明 3	50代 2 60代 41 70歳以上 34 不明 5	溶接工 15 配管工 12 電気工 6 その他・不明 25			

石綿健康相談アンケート集計（※アンケート回答者75人に対する割合）



(参考) 岡山産業保健推進センター相談窓口相談者並びに相談内容集計

(H17. 7. 22~9. 16)



活動の効果・影響

- 1) 厚労省通達による第1回目の石綿健康相談を玉野市で実施した。
相談者75名の内、推進センター相談員4名が曝露歴のある労働者ないし離職者及び家族27名を担当した。
- 2) 対象者は平均70歳と高齢離職者が多く、
曝露期間も平均29年と長期で認定を含めた早急な対策の必要を痛感した。
- 3) この内、石綿肺の要健診者は15名と過半数で、全てが現時点では労災病院を対象とせざるを得ず、
新たな課題が派生している。
- 4) 相談者の内、14名は既に各総合病院で健診・精検を実施済みで、何等かの診断を受けており、
又、現在診療中のものも8名おり、今後の指針等についての指導内容により慎重な対応が求められた。
- 5) 一方で曝露歴があり、尚かつ何らかの呼吸器症状を有するのに未だ健診を受けていない相談者も
8名と次いで多く、その他の曝露歴があるものと併せるとほぼ半数近くになり、その結果、健診・精検
は殆どの相談者が受けることを余儀なくされ、いずれはパニック状態を迎えることを危惧している。
- 6) 来る10月28日に第2回の標記健康相談が実施される。次回の健康相談結果が今後の健康相談
のあり方の方向性を示唆するものとする